

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	総合型地域スポーツクラブ自立支援事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ活動の促進	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等	野木町総合型地域スポーツクラブの支援事業実施要綱				

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	町内在住在勤者及び賛同者	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	クラブの自主運営で、定期的なスポーツ活動、教室・大会・イベントの開催		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	財源内訳	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
			コスト総額	千円	1,794	1,192	1,192	1,192	1,192
			事業費等	千円	600	600	600	600	600
			国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	600	600	600	600	600
			人件費	千円×人役	1,194	592	592	592	592
正規職員			千円×人役	5,968 × 0.20	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	1. 定期的・継続的活動支援 2. 教室・講座・イベントの開催 3. 広報活動 4. 活動支援事業			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				教室	回	9	5	55.6	9	4	44.4
				イベント	回	4	6	150.0	4	1	25.0
				講座	回	3	2	66.7	3	1	33.3
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	1. 参加人数の増 2. 登録会員数の増			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				参加者数	人	1,250	1,411	112.9	1,250	1,332	106.6
				会員数	人	1,250	1,411	112.9	1,250	1,332	106.6

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	日常生活の中で自発的にスポーツを楽しむ、各自の健康・体力の維持増進、スポーツ愛好者の増加を目指し、定期的・継続的なスポーツ活動を通して会員相互の親睦と地域社会のコミュニティづくりに資するため。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	毎回アンケートを実施し、内容等確認して次回に繋げている。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 C. 検討の余地あり	理由	指導者の活用が考えられ、自立化が望ましい。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 B. 検討の余地あり	理由	町事業と同じようなものがある。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 B. 概ね保たれている	理由	幅広い年齢層の参加者がある。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	会員と非会員と分けている。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	大きな問題がないため。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	定期的・継続的に必要なため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	ニーズに合った事業の実施。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	自立したクラブづくりにより、経営の安定化と目的に沿って事業の実施。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	スポーツ人口の底辺拡大のためにも事業を継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	スポーツレクリエーション大会・教室事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ活動の促進	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等					

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	全住民	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	スポーツレクリエーション大会・教室		
	前年度から改善した点	各事業等において、民間活力を積極的に取り入れるよう努めるなど、内容を見直した。		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	2 目	
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	
		コスト総額	千円	5,968	5,920	5,920	5,920	5,920	
		事業費等	千円	0	0	0	0	0	
		財源内訳	国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
		人件費	千円×人役	5,968	5,920	5,920	5,920	5,920	
正規職員		千円×人役	5,968 × 1.00	5,920 × 1.00	5,920 × 1.00	5,920 × 1.00	5,920 × 1.00		
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	広報等周知、ポスターの掲示、町体育協会等各種団体との連絡			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
		町広報誌掲載	回	12	12	100.0	12	12	100.0
		ポスター掲示	回	3	3	100.0	3	3	100.0
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	子ども達の参加者が多い			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
		教室	事業	10	10	100.0	10	5	50.0
		大会	事業	7	11	157.1	7	2	28.6

4. 評価

(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	誰もが気軽に参加でき、親しめるものである。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	参加者が多く、気軽に楽しんでいる。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 C. 検討の余地あり	理由	外部講師依頼や体育協会専門部及び登録団体との調整が必要。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 B. 検討の余地あり	理由	外部講師依頼や体育協会専門部及び登録団体との調整が必要。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 B. 概ね保たれている	理由	募集方法等に偏りはなく、多くの参加者がいる。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	特に問題が起きていない。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 A. 成果(サービス)向上や改善の余地がある	理由	アンケート等事業内容の検討、ニーズに合った事業の検討。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	アンケート等事業内容の検討、ニーズに合った事業の検討をしながら、事業は継続すべき。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	担当者	アンケート等事業内容の検討、ニーズに合った事業かを検討する。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	アンケート等事業内容の検討、ニーズに合った事業か検討し、新規の参加者を募る。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
C. 事業継続			スポーツ人口の拡大や各種スポーツを体験するためにも事業を継続したい。	
3次評価	町長	評価	今後の方向性	

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	スポーツ・文化の全国大会等出場補助金事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ活動の促進	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等	野木町スポーツ・文化の全国大会等出場補助金交付要綱				

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	全町民	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	関東・全国大会等出場者に補助金の交付		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	
		コスト総額	千円	2,016	2,063	1,861	2,092	2,092	
		事業費等	千円	1,419	1,471	1,269	1,500	1,500	
		財源内訳	国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	1,419	1,471	1,269	1,500	1,500
		人件費	千円×人役	597	592	592	592	592	
正規職員		千円×人役	5,968 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10		
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	・小中学校(全7校)に対し、年度当初に事業の説明及び活用依頼を行っている。 ・町内在住の高校、大学生や在勤者に対しては、広報へ掲載し、活用いただけるよう周知している。			目標	実績	達成度(%)	目標	実績	達成度(%)		
				小中学校	学校	7	7	100.0	7	7	100.0
				町内在住の高校・大学生	回	2	2	100.0	2	2	100.0
町内在住在勤者	回	2	2	100.0	2	2	100.0				
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	スポーツ人口の増加や、遠征費用等が補助できるため、小中学生の保護者の負担軽減に繋がっている。			目標	実績	達成度(%)	目標	実績	達成度(%)		
				小中学生	件	24	24	100.0	24	2	8.3
				高校生以上	件	32	32	100.0	32	6	18.8

4. 評価

(1) 必要性	総合計画の目標に結びつく事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	大会参加の意欲が保たれている。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	申請件数が増加傾向にあるため、引き続きニーズはある事業である。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 B. 行政主体が望ましい	理由	事務手続きを行う上でも行政主体が望ましい。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	類似事業はなく、町補助金のためコスト削減はできない。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	周知は広く行っており、多くの申請者から申請を受けられるよう努めている。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	補助金であるため、負担金は発生しない。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	適切な周知、活用推進により事務を行っているため。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	今後も本町のスポーツ振興を担う子供やそれを支える保護者のため、継続していきたい。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	年度末(2月から3月)の大会の申請漏れ防止などの検討。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	申請漏れ、補助金額の見直し検討。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	競技スポーツ参加促進のため事業を継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	スポーツ推進委員会事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ指導体制づくり	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等	野木町スポーツ推進委員に関する規則				

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	全町民	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	町のスポーツ推進(実技指導、スポーツ活動促進のための組織育成、スポーツ推進のための事業実施、スポーツに対する住民の関心と理解を深めること、スポーツ推進の指導助言)		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	財源内訳	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
			コスト総額	千円	1,092	1,087	1,087	1,087	1,087
			事業費等	千円	495	495	495	495	495
			国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	495	495	495	495	495
			人件費	千円×人役	597	592	592	592	592
正規職員			千円×人役	5,968 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	推進委員専門部会活用と意識改革			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				企画立案	件	12	12	100.0	12	12	100.0
				研修会の参加	回	4	4	100.0	4	4	100.0
広報誌等啓発宣伝	回										
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	委員の役割分担としてシュミレーションの実施			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				町駅伝・健康マラソン大会	回	2	2	100.0	2	0	0.0
				ザ・ウォーキング	回	3	3	100.0	3	0	0.0
研修会	回	4	4	100.0	4	1	25.0				

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	生涯スポーツによる健康増進のための機会の推進、スポーツの普及など生涯スポーツの振興を図っている。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	新しいニュースポーツ普及や誰もが気軽にスポーツができる機会の提供づくりを推進している。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 B. 行政主体が望ましい	理由	各地区より委員が選出されており、公平性は保たれている。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	類似事業はなく、連携は困難である。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	全町民が対象のため。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	参加者負担は妥当である。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 A. 成果(サービス)向上や改善の余地がある	理由	ニーズに合った内容の取り組みのため、引き続きニーズを検討していく。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	新しいニュースポーツ普及や誰もが気軽にスポーツができる機会の提供づくりに寄与しているため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	各委員間で事業等における負担にばらつきがみられるため、できるだけ負担を均等にするよう調整する。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	行政が求める項目が多いため、委員の協力が不可欠である。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	スポーツ推進のため今後も継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	スポーツ推進情報提供事務		(2) 新規・継続評価の別			継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会	
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課	
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係	
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長		
	施策	生涯スポーツ指導体制づくり	(6) 関連する課			
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等	野木町スポーツ推進委員に関する規則					

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	全町民	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	広報・生涯学習ガイドブック又は単発的に公民館・体育センターなどチラシの掲示。スポレクフェスタなど全戸配布及び回覧。		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	財源内訳	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)
			コスト総額	千円	597	592	592	592	592
			事業費等	千円	0	0	0	0	0
			国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
			人件費	千円×人役	597	592	592	592	592
正規職員			千円×人役	5,968 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	広報、生涯学習ガイドブック、チラシなど配布、回覧			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				広報掲載	回	12	12	100.0	12	12	100.0
				生涯学習ガイドブック	冊	1	1	100.0	1	1	100.0
チラシ	回	2	2	100.0	2	1	50.0				
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	広報、生涯学習ガイドブック、チラシなど配布、回覧			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				広報掲載	回	12	12	100.0	12	12	100.0
				生涯学習ガイドブック	冊	1	1	100.0	1	1	100.0
チラシ	回	2	2	100.0	2	1	50.0				

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	誰もが気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるよう情報を発信し、ニーズの多様化に対応している。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	オリンピックの開催等によりスポーツに対する機運が高まっているため。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 B. 行政主体が望ましい	理由	行政が得た情報を発信する必要があるため。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	類似事業がないため、統合は困難である。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	公平に発信している。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	公平である。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 A. 成果(サービス)向上や改善の余地がある	理由	町民のニーズに合った情報を的確に提供するための内容の検討。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	誰もが気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるよう、情報を発信し続ける必要があるため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	町民のニーズに合った情報を的確に提供する。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	各種教室や大会に多くの参加者を募るため、周知しやすい方法を検討していく。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	より多くの町民の方に参加していただけるよう検討しながら継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	スポーツ推進体制整備事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ指導体制づくり	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等					

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	ジュニア、小学生	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	ジュニア、小学生の育成のためスポーツ団体からの助成		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	2 目			
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)			
				コスト総額	千円	597	592	592	592	592	
				事業費等	千円	0	0	0	0	0	
				財源内訳	国支出金	千円					
					県支出金	千円					
					地方債	千円					
					その他	千円					
					一般財源	千円					
				人件費	千円×人役	597	592	592	592	592	
正規職員				千円×人役	5,968 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10		
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×					
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×					

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動 指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	・スポーツ少年団の育成助成 ・元気の出るスポーツクラブのぎジュニア育成助成			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
		スポーツ少年団	団	7	7	100.0	7	7	100.0
		元気の出るスポーツクラブのぎ育成	団体	16	19	118.8	16	18	112.5
(2) 成果 指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	・スポーツ少年団の育成助成 ・元気の出るスポーツクラブのぎジュニア育成助成			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
		スポーツ少年団	団	7	7	100.0	7	7	100.0
		元気の出るスポーツクラブのぎ育成	団体	16	19	118.8	16	18	112.5

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	誰もが年齢に応じたスポーツへ取り組みをしやすいよう推進している。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	少子化でスポーツに取り組む小学生等が減少していることから、支援のニーズが増えている。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 A. 実施済み・できない	理由	元気の出るスポーツクラブからの育成助成を受けている。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	類似事業がないため、統合は困難である。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	幅広い種目に対して助成を行っている。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	特に問題が出ていない。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	アンケート等のニーズに合った取り組みをしているため。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	少子化でスポーツに取り組む小学生等が減少していることから、支援が必要であるため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	少子化のため部員の確保が困難等の問題に対して、他市町との情報交換が必要。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	よい環境づくりが必要(体育協会加盟団体の協力、若手育成、ジュニア育成)
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	競技スポーツの底辺拡大のため今後も継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	町スポーツ推進審議会事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ指導体制づくり	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等	野木町スポーツ推進審議会条例				

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	全町民	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	スポーツ振興に関し、必要な調査・計画及び審議を行う。 国・県スポーツ振興基本計画の町のスポーツ運動計画又はニーズに合った事業の推進。		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	
			コスト総額	千円	674	669	643	643	643
		財源内訳	事業費等	千円	77	77	51	51	51
			国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
		一般財源	千円	77	77	51	51	51	
	人件費	千円×人役	597	592	592	592	592		
正規職員	千円×人役	5,968 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10	5,920 × 0.10			
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	審議会の実施			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
			審議会	回	3	2	66.7	3	2
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	スポーツ推進事業・予算の理解			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
			審議会	回	3	2	66.7	3	2

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	スポーツ施設の充実や環境づくりの推進、生涯スポーツ振興を図っている。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	町民ニーズを直接伴う事務事業ではないが、町のスポーツに関する最高審議機関であり、町民のスポーツに対するニーズに合った事業の推進を行う事業のため、A評価とした。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 A. 実施済み・できない	理由	既に外部からの学識経験者を委員としている。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	類似事業はなく、最低限のコストで運営している。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	町内全体のスポーツ振興に係る事業について審議しているため、公平性は保たれていると考える。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	本事業による受益者負担は発生しない。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	町のスポーツ振興のため必要な審議会であるため。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	引き続き町のスポーツ運動計画又はニーズに合った事業を推進するため、必要な事務である。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	特に問題なし。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	今後も継続していく事業である。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	今後も継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

4. 評価

(1) 必要性	総合計画の目標に結びつく事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	総合計画に位置づけられた事務事業である。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	利用者人数が目標人数よりも多いことからニーズが増大していると推測できる。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 A. 実施済み・できない	理由	既に、公益社団法人野木町シルバー人材センターに委託している。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	類似事業はなく、投入コストも適切である。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 B. 概ね保たれている	理由	施設利用希望者が申し込みを行い利用しているため、公平性は保たれている。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	使用料は各自自治体により異なるため、比較することは難しいが、関東どまんなかサミットにより近隣市町も住民同様の料金で利用できることから、妥当であると判断している。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 A. 成果(サービス)向上や改善の余地がある	理由	委託内容等の検討の余地がある。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	町総合運動公園及び町内各グラウンドの管理業務、潤島グラウンドのトイレ清掃業務等が、町内高齢者の就業機会の増大・健康と生きがいのある生活の実現支援に活かされているため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	利用者の安全・安心に心がけていく。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	継続して実施し、老朽化対策を早急に図っていくこと。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	維持管理のために必要な事業であり今後も継続したい。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	体育施設管理事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ指導体制づくり	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等					

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	利用者	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	体育施設の維持管理、利用者の調整		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	
		コスト総額		千円	895	888	888	888	888
		事業費等		千円	0	0	0	0	0
		財源内訳	国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
		一般財源		千円					
	人件費		千円×人役	895	888	888	888	888	
正規職員		千円×人役	5,968 × 0.15	5,920 × 0.15	5,920 × 0.15	5,920 × 0.15	5,920 × 0.15		
正規職員時間外勤務		千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×		
その他職員		千円×人役	×	×	×	×	×		

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動 指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	・利用者の調整会議 ・体育協会専門部、元気の出るスポーツクラブのぎとの連絡調整			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
		調整会議	回	1	1	100.0	1	1	100.0
(2) 成果 指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度		
	・定期利用各団体との連絡事項の統一 ・手数料の一括徴収 ・利用稼働率の向上 ・清掃、備品等の片付けなど自己管理ができてい			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
		調整会議	回	1	1	100.0	1	1	100.0

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	誰もが年齢や体力に応じて、気軽にスポーツやレクリエーションを行い、施設を利用している。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	利用者から非常に好評を得ている事業であり、稼働率が高い。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 A. 実施済み・できない	理由	大きな問題がなく施設の利用ができており、自主運営で特に問題がない。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	自主運営としているので問題はない。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	町体育協会、元気の出るスポーツクラブのぎの加盟団体及びサークル活動団体であり、傷害保険の加入を条件としているので公平性は保たれている。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	利用者団体の自主運営のため妥当である。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	特に問題なし。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	年間を通じての利用があるため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	利用者の利用目的に施設の対応(コート毎の仕切り等)、定期利用団体の利用時間。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	現に見合っている状況であるが、近年のニーズに合った要望事項を取り入れられるような、計画的な施設整備を図っていく。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	今後も継続すべき。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	学校体育施設開放事務		(2) 新規・継続評価の別		継続
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	係長	
	施策	生涯スポーツ活動の促進	(6) 関連する課		
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等	野木町小学校及び中学校の施設の開放に関する規則				

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	町民利用者	実施期間	R2.4 ~ R3.3
	事業内容	各小中学校の体育館の利用		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	
		コスト総額	千円	1,495	1,488	1,488	1,488	1,488	
		事業費等	千円	600	600	600	600	600	
		財源内訳	国支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円	600	600	600	600	600
		人件費	千円×人役	895	888	888	888	888	
正規職員		千円×人役	5,968 × 0.15	5,920 × 0.15	5,920 × 0.15	5,920 × 0.15	5,920 × 0.15		
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×	357 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動 指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	・利用者との調整会議 ・学校と利用者団体との連絡調整			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				調整会議	回	1	1	100.0	1	1	100.0
				連絡会議	回	1	1	100.0	1	1	100.0
(2) 成果 指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	平成31年度			令和2年度				
	統一した利用時間・備品利用など、学校と連絡が 密になった。			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)		
				学校と利用者の連絡	回	12	12	100.0	12	12	100.0
				注意事項の確認	回	12	12	100.0	12	12	100.0

4. 評価

(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 A. 結びつく	理由	誰もが年齢や体力に応じて、気軽にスポーツやレクリエーションを行い、地域の施設を利用している。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 A. ニーズが増大している事業である	理由	利用者から非常に好評を得ている事業である。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 A. 実施済み・できない	理由	大きな問題がなく、施設の利用ができており、自主運営で特に問題なし。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	自主運営としているので問題なし。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 A. 保たれている	理由	町体育協会・元気の出るスポーツクラブのぎ加盟団体及びサークル活動団体であり、傷害保険の加入を条件としているので公平性は保たれている。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 A. 妥当である	理由	利用者団体の自主運営のため妥当。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	利用者団体の自主運営のため妥当であり、特に問題なし。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 A. 事業終了の可能性はない	理由	誰もが年齢や体力に応じて、気軽にスポーツやレクリエーションを行え、利用者から好評を得ている事業のため。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	学校との連絡関係が保たれており、特に問題なし。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	町民対象で公平性が保たれており、特に問題なし。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	今後も継続すべき事業である。
	3次評価	町長	評価	今後の方向性

令和3年度 野木町総合計画進行管理 兼 事務事業評価シート(令和2年度実績分)

1. 事業の位置づけ

(1) 事務事業名	いちご一会とちぎ国体事業		(2) 新規・継続評価の別		新規
(3) 総合計画 施策体系 における 位置づけ	施策体系	施策分野別計画	(4) 担当 部署	部(局)	教育委員会
	基本目標	支えあい・心ふれあうやさしいまち		課	生涯学習課
	分野別目標	いきいき暮らせる健やかなまちづくり		係	スポーツ振興係
	施策分野	生涯スポーツの振興	(5) 主担当者区分	主査	
	施策	生涯スポーツ活動の促進	(6) 関連する課	こども教育課	
(7) 根拠法令・条例・規則 ・要綱等					

2. 事業内容・投入コスト

(1) 事業 内容	事業の対象になる相手方	日本ハンドボール協会	実施期間	令和2年 ~ 令和4年
	事業内容	令和4年度に開催されるいちご一会とちぎ国体の広報啓発活動及び準備。		
	前年度から改善した点	特になし		

(2) 投入コスト	会計	010 一般会計			予算科目	9 款	5 項	1 目	
	事業費	区分	単位	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込み)	令和4年度 (見込み)	
		コスト総額		千円	0	0	18,755	65,729	147,943
		事業費等		千円	0	0	12,774	47,786	130,000
		財源内訳	国支出金	千円					
			県支出金	千円			4,031	10,621	55,656
			地方債	千円			3,000		
			その他	千円					
		一般財源	千円			5,743	37,165	74,344	
	人件費		千円×人役	0	0	5,981	17,943	17,943	
正規職員	千円×人役	5,920 ×	6,053 ×	5,981 × 1.00	5,981 × 3.00	5,981 × 3.00			
正規職員時間外勤務	千円×人役	357 ×	470 ×	300 ×	300 ×	300 ×			
その他職員	千円×人役	×	×	×	×	×			

3. 活動指標・成果指標

(1) 活動指標	事務・事業を実行するための手段	指標名	単位	令和元年度			令和2年度		
	栃木県、共催市、ハンドボール協会との連携。			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)
(2) 成果指標	事務・事業を実行したことによる成果	指標名	単位	令和元年度			令和2年度		
	いちご一会とちぎ国体の実施。			目標	実績	達成度 (%)	目標	実績	達成度 (%)

4. 評価				
(1) 必要性	総合計画の目標に結び付く事務・事業か	評価 D. 結びつかない	理由	国体は競技選手を対象とした事業であり、日本全国から集まる選手をもてなすことにより、自治体の魅力を発信するという面が強いいため。
	町民のニーズに即した事務・事業か	評価 D. ニーズがほとんどない事業である	理由	対象が国体に出場するハンドボール競技の各県代表選手であるため。
(2) 効率性	事務・事業の実施に係る民間活力利用の可能性はあるか	評価 D. 民間活力を活用した方が良い	理由	大会規模が大きいため、積極的な民間活力の活用が不可欠である。
	類似事業との統合・連携や予算やコスト削減の可能性はあるか	評価 A. 現状が望ましい	理由	啓発関係事業については他のイベントとの連携が可能である。本大会についてはハンドボール競技に特化した特殊な業務のため他業務との連携は困難である。
(3) 公平性	事業の受益者に偏りがなく公平性保たれているか	評価 C. 偏っている	理由	主たる対象者が国体に出場するハンドボール競技の各県代表選手であるため。
	事業の受益者負担割合は妥当か	評価 B. 妥当ではない	理由	参加する選手は、各県代表であり費用の負担をしないため、受益者負担は発生しない。
(4) 総合評価	事業再検討の余地	評価 B. 再検討の余地はない	理由	国体という特殊な事業であるため検討の余地はない。
	事業終了の可能性・終了条件の有無	評価 B. 条件を満たせば終了可能である	理由	各県の持ち回り開催であり、令和4年の開催により終了する。

5. 今後の課題・方向性

(1) 改善点	主担当者	先催県の事例から、膨大な業務量が推測される。民間活力を活用しつつ、適正な人員配置、予算措置が必要と考える。		
(2) 評価・今後の方針	1次評価	担当係長	評価	今後の方向性
			C. 事業継続	栃木県、共催市及び競技団体と連携しながら進めていく。また、町の規模に見合った大会としていく必要がある。
	2次評価	所属長	評価	今後の方向性
C. 事業継続			本大会の開催に向け、県をはじめ関係機関と連携するとともに、町民の共感と熱意を得ながら積極的に開催準備業務を実施する。	
3次評価	町長	評価	今後の方向性	